

1. 地域の状況

(* : 県西地域活性化プロジェクト推進事業 (地域再生計画)のKPI)	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
県西地域における社会増減(人) *	/	-2,315	-1,600	-169	-1,200	66	-800	-217	-400	0	0	/
県西地域における入込観光客数(万人) *	/	2,990	3,440	3,387	3,490	3,617	3,552	3,654	3,632	/	3,722	/
県西地域における観光消費額(億円)		970		1,108		1,199		1,211				

2. 現行プロジェクトの主な成果

柱	個別プロジェクト	主な成果	
I 未病がわかる	① 「未病がわかる」情報発信プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「未病いやしの里の駅」の登録施設増(213箇所) ・ME-BYOサミット神奈川等の開催(H27,H29,H31) ・講座、セミナーの開催 	県 県、各市町
	② 「未病がわかる」拠点形成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトピア(H30.4)、未病センターの開設 ・複合拠点施設の整備(H31.3)、活用 ・瀬戸屋敷の機能強化 	県、各市町 松田町 開成町
II 未病を改善する	③ 「健康食生活」実践プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「食の駅」登録、未病チェックシート活用 ・里都まち交流拠点の整備(H30.6)、活用 	県 中井町
	④ 薬用植物等利活用促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・薬用植物の栽培、活用 	県
	⑤ 特色ある農林水産物の新商品開発プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の栽培、新商品の開発 	県、各市町
	⑥ 農林水産物の販売促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・消費、販路の拡大 	県
	⑦ 農林水産物の基盤強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原漁港等の整備 ・果実の販路拡大 	県 山北町
	⑧ 楽しく歩く地域づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングマップの作成 ・ボールウォーキングの参加者増 	県 山北町
	⑨ スポーツ普及促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビー等を通じた交流人口の拡大 ・スポーツイベント、セミナーの開催 ・未病改善プログラムの普及 	小田原市 山北町、開成町 箱根町
	⑩ 農と結びついたらしの提案プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート付き市民農園の開設(H28.9) ・食と農業体験交流事業の実施 	県 大井町
	⑪ 温泉の魅力アピールプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「芦之湯」の国民保養温泉地の指定(H27.5) ・温泉泥の開発・活用 	箱根町 湯河原町
	⑫ 森林の活用促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピーの普及拡大 ・森林での運動と癒しによる未病改善の実践 ・魚つき林のアピール、森の駅の整備 	山北町、箱根町 箱根町 真鶴町
III 未病でつなぐ 地域の活性化	⑬ 産業の集積促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地の環境影響評価要件緩和 ・工業団地への企業誘致 	県 山北町
	⑭ 地域の魅力を体感する観光開発プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・未病資源の連携ツアー実施 ・道の駅「足柄・金太郎のふるさと」の整備(R2.4) ・洒水の滝遊歩道の整備設計 ・モバイルアプリの開発 	県 南足柄市 山北町 箱根町
	⑮ 新たなまちの形成促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・民間主体による多世代交流 	湯河原町
	⑯ まちをつなげる交通ネットワーク整備推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・南箱道路等の整備 ・スマートICの整備 	県 山北町

3. プロジェクト改定の必要性

- 県西地域活性化プロジェクトに係る地域再生計画のK P Iは、**目標をおおむね達成**
- この間、未病バレー「ビオトピア」の整備、小田原漁港や道の駅「足柄・金太郎のふるさと」の整備など、プロジェクトに位置付けられた個々の取組みが進み、**目に見える成果も上がっている**
- さらに、南箱道路や山北スマート I Cなど**交通ネットワークが整いつつある**
- **今後は、こうした成果を生かして、拠点間の連携や回遊性の向上**（静岡県・山梨県との連携も含む。）**などにより交流人口を拡大させ、地域経済の活性化に結び付けていく必要がある**

- 一方、例えば、社会増減の状況を年齢別に見ると若年世代の地域外への転出に歯止めがかかっていないことから、**企業誘致や将来の地域の担い手の確保**などにも、力を入れていく必要がある

そこで

持続可能な活力ある県西地域の実現を目指し、引き続き、**地元が一体となって活性化に取り組んでいくため、新たな視点も盛り込みながら、プロジェクトを改定する**

4. 今後のスケジュール（想定）

令和2年	4～7月	個別ヒアリング、計画推進部会において協議
	8月頃	地域別首長懇談会において意見交換
	8～10月	計画推進部会において素案の原案をとりまとめ
	10月頃	協議会を開催し、素案の原案について意見交換
令和3年	3月頃	協議会を開催し、プロジェクトを改定

(参考)

社会増減の状況を年齢別に見ると、40歳代以上は概ね転入超過となっている一方、20歳代・30歳代で大幅な転出超過となっている。（※ プロジェクトが策定された平成26(2014)年から令和元(2019)年まで一貫して転出超過）

